

■第6・7回理事会開催■

第6回理事会を7月31日に、第7回理事会を8月24日に開催し、次の事項について審議がなされました。

■第6回理事会■

【報告事項】

1. 業務の推進状況報告

- 1) 主要行事の報告
- 2) 生乳出荷状況報告
- 3) 財務状況報告
- 4) 内部監査報告について
- 5) 第2四半期クミカン実績報告

【附議事項】

1. 第1四半期自治監査講評
2. JA財務モニタリング報告について
3. 体制整備モニタリング報告について
4. その他

■第7回理事会■

【報告事項】

1. 業務の推進状況報告

- 1) 主要行事の報告
- 2) 組合員の加入・脱退等の状況報告
- 3) 生乳出荷状況報告
- 4) 内部監査報告

【附議事項】

1. 出資持分の譲渡及び出資口数の減少について
2. 特別指導組合員に対する融資について
3. 共済規程の一部変更について
4. 燃料手当の支給について
5. その他

廃プラスチック回収 早めの準備を！

秋の廃プラスチック回収を10月頃に予定しております。スケジュールを調整の上、詳しい日程が決まり次第FAX等にてお知らせいたします。余裕をもって準備しておきましょう。

◎家畜市場日程◎

9月1日(火) 豊富一般市場 午前10時30分
9月8日(火) 豊富一般市場 午前10時30分
9月15日(火) 豊富一般市場 午前10時30分
9月18日(金) 豊富乳牛市場 午前10時00分
9月25日(金) 豊富一般市場 午前10時30分
(初生トクのみ)

9月29日(火) 豊富一般市場 午前10時30分

◎モクシは必ず新しいものを使用して下さい。

◎一般・乳牛・育成市場共に申込受付は締切日の午前中までに申込をお願い致します。

◎一般・乳牛・育成・肉牛市場への申込FAXの際には、**必ずホスホマイシン使用の「有・不明・無」を申告**願います。

◎乳牛・育成・和牛市場共に登録書を販売係に渡して下さい。(支所地区は問寒別支所に提出して下さい。)

◎各市場・廃用牛の集荷申込は、**9-4660** 販売係専用FAX番号へお願い致します。

乳牛市場 申込締切日

開催日：11月20日(金) 豊富地域家畜市場

締切日：9月4日(金) 午前中まで

*授精歴を記入してお申込下さい。

*販売牛の洗浄、削蹄を実行しましょう。

育成市場 申込締切日

開催日：11月27日(金) 豊富地域家畜市場

締切日：9月11日(金) 午前中まで

*ワクチン接種が必要です。

和牛市場 申込締切日

開催日：11月12日(木) 南北海道家畜市場

締切日：9月25日(金) 午前中まで

*申込期日厳守でお願い致します。



8月9日(日)、「第53回ほろのべ名林公園祭り」にて、乳製品の消費拡大を目的とした取り組みの一環として、会場にて牛乳の無料配布を行いました。

当日は、牛乳とミルメイクを用意。開始から多くの来場者が訪れ、わずか30分で配布を終了するほどの盛況ぶりとなりました。

また、模擬牛を使った搾乳体験も実施。実際に牛の乳を搾る感覚を体験しながら、酪農や牛乳について楽しく学ぶ機会となったと思います。今回のイベントを通じて、牛乳や酪農をより身近に感じてもらい、消費拡大につながる取り組みとなりました。



幌延町農協青年部
ほろのべ名林公園祭り
牛乳無料配布実施！

◆牛乳出荷状況◆

令和8年7月分出荷状況は次の通りです。

実績 1,923,290kg
前年 2,138,970kg

前年対比 89.9%

<令和8年4月～令和8年7月>までの全体累計

実績 7,982,660kg

<令和7年4月～令和7年7月>までの全体累計

実績 8,710,440kg

前年対比 91.6%



■日頃から良質乳の出荷に努めよう■

良質乳生産は毎日の正しい搾乳手段と正しい洗浄方法に心掛け、今後とも生菌数1万・体細胞数30万以下の良質乳を出荷する様に努めましょう。



☆8月の生菌・体細胞検査の結果☆

生菌数	上旬	中旬	下旬
1.4万以下	37戸	40戸	36戸
1.5～3.9万	3戸	0戸	4戸
4万以上	1戸	1戸	1戸
体細胞数	上旬	中旬	下旬
30.4万以下	22戸	22戸	21戸
30.5～40.4万	12戸	10戸	12戸
40.5～50.9万	5戸	5戸	4戸
51.0～99.9万	2戸	3戸	3戸
100万以上	0戸	1戸	1戸

☆7月分乳成分率検査成績表☆

単位：%

項目	幌延	留萌管内	全道
脂肪率	4.035	3.996	4.062
たんぱく質率	3.420	3.388	3.348
無脂固形分率	8.854	8.819	8.804
全固形分率	12.890	12.816	12.866
乳糖・灰分率	5.435	5.432	5.456



令和8年度 道北ホルスタイン共進会

8月6・7日に豊富地域家畜市場にて、「令和8年度道北ホルスタイン共進会」を開催しました。

審査員には、広尾町で酪農業を営まれている 佐藤 幸一氏があたり、総出陳頭数110頭の審査が行われました。本組合からは15頭が出品され、板垣 祐太 さんの出品牛『エルモ キヤッツ サイドキツク』がグランドチャンピオンに選ばれました。

本組合の上位入賞牛は以下のとおりです。（1等2席まで）

第2部	1等2席	エルモ ライオネル ブルーインズ	板垣 祐太
第8部	1等1席	エルモ アイリス ロイヤル	板垣 祐太
第9部	1等1席	エルモ チーフ エントリー	板垣 祐太
第10部	1等1席	ノースフィールド UNI アポロ レディース	無量谷 裕
第13部	1等1席	エルモ キヤッツ サイドキツク	板垣 祐太
第15部	1等2席	ノースフィールド DH アメイジング オーサム	無量谷 裕



青年部主催



8月17日（月）、青年部主催のバーベキューパーティが開催されました。本組合員・職員・関係機関等合わせて25名が参加し、和やかな雰囲気の中楽しいひとときを過ごしました。また今回は、酪農学園大学 放牧ネットワークサークルの学生5名も参加し、親睦を深めながら食事や会話を楽しみました。普段なかなか交流する機会のない方とも話すことができ、笑顔の絶えない楽しい交流会となりました。



青年部部長 目黒亮さん

たくさんのご参加ありがとうございました！

9月 催事について
（本所 1階ロビー）



7(月)・8(火)

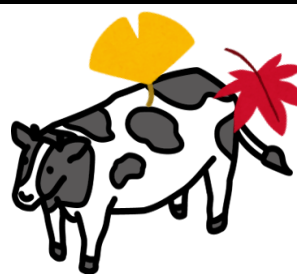
24(木)・25(金)



職員募集中

幌延町農業協同組合
担当:小林 竜之
TEL:01632-5-1211

秋落ちとは？



夏の暑さが終わり、涼しい秋が訪れると人も牛も過ごしやすくなるように思えます。しかし、酪農の現場では秋になると乳量が思うように伸びず、体調を崩す牛が増える「秋落ち」と呼ばれる現象があります。特に分娩後100日前後の泌乳ピークにある牛に起こりやすく、一度乳量が落ちると、その乳期を通じて回復しないケースも少なくありません。

秋落ちを少しでも防ぐために取り組みたい対策を紹介します。

①暑熱対策をもう終わりと思わない

9月になって気温が下がると、人間は「もう暑くない」と感じますが、乳牛はまだ暑熱ストレスを受けることがあります。

- 送風を止めない
- 牛舎内の温度・湿度確認
- 十分な飲水量の確保
- 水槽の清掃
- 西日対策→秋は太陽の位置が低くなり西日が牛舎内に入りやすくなるため、意外と牛体や飼料が暑くなることがあります。

②飼料を「食える状態」に戻す

夏に食べ込みが落ちていた牛群では、栄養価の高い飼料を与えるより先に、牛がちゃんと食える環境を作ることを優先します。

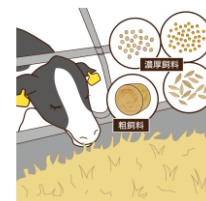
発酵品質が良く消化率の高い粗飼料を使う、残飼を掃除して新鮮な飼料を給与するなど心掛けましょう。



③食べ込みを確認する

乳量が落ちた＝すぐ濃厚飼料を増やすではありません。夏に採食量が落ちた状態で濃厚飼料を増やすとルーメン内の発酵バランスが崩れ、潜在性ルーメンアシドーシスを悪化させる可能性があります。

- 乾物摂取量（DMI）
- 残飼量
- 飲水量
- 反芻時間
- 糞便の状態
- 乳脂肪・乳蛋白
- MUN
- 体細胞数



などをチェックし、飼料設計を調整してみましょう。

④長日管理を検討する

夏至を過ぎると日照時間が短くなります。この日長の短縮が乳牛のホルモン環境に影響し、泌乳にも影響することが分かってきています。対策としては、文字が十分に読めるくらいの明るさで16～18時間明るくし、6～8時間暗い時間をつくることで一定のリズムを維持することができます。設備投資するまででは…という場合まずは、光をさえぎるクモの巣を取り除くなどの牛舎の窓（明り取り）の清掃や、照明自体の清掃などで明るさを確保しましょう。

⑤防疫と衛生の強化

秋口は夏の暑熱ストレスや昼夜の寒暖差などにより牛の抵抗力が下がるため「持ち込ませない・持ち回らない・持ち出さない」の基本を徹底しましょう。人と車両の消毒、隔離管理、乾燥した床材の確保などで感染リスクを下げるができます。

※秋落ちは単一要因ではなく、光周期・飼料・健康管理・夏の暑熱ストレスが複合して発生します。

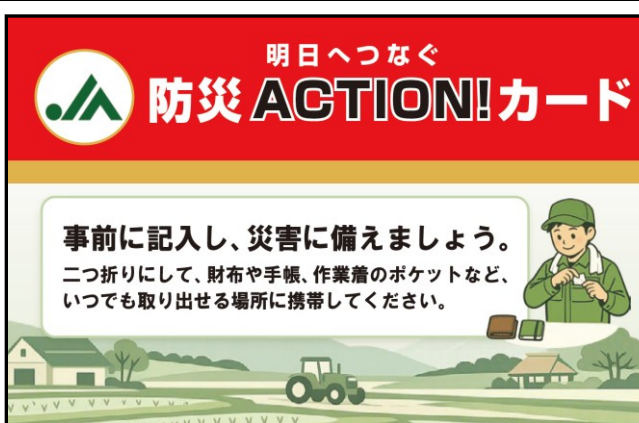
対策は組合せが肝心！まずは乳量の時系列データを整え、照度と飼料摂取を現場で計測することをオススメします。

毎年9月6日はJAグループ北海道

防災の日

9月1日から6日はJAグループ北海道防災期間
毎年9月1日から6日はJAグループ北海道防災期間となっております。

7月28日に熊本県で最大震度7を観測する地震が発生したことを受け、災害への備えの必要性を改めて認識した方も多いと思います。そこで、今年度は災害発生時の対応を確認・記入のうえ、常時携帯できるカードを配布いたします。



明日へつなぐ
防災 ACTION! カード

事前に記入し、災害に備えましょう。
二つ折りにして、財布や手帳、作業着のポケットなど、いつでも取り出せる場所に携帯してください。

↑同封のカードにご記入のうえ財布やスマホケースなどに入れ携帯しましょう。